



立て心よ 行け私よ

No. 5

文責:齊藤 正一

2学期が始まりました

【始業式:校長先生のお話より】



楽しかった夏休みが終わりました。皆さんは、どんな夏休みでしたか。墨中生、全員、フォーサイト手帳を活用して、とりあえず「中農」になれたと信じています。中には「上農」になれた人がいることを期待します。

さて、1学期の終業式でも紹介があったように、生徒会長さんが、須坂市の他の中学校の代表者と共に、8/6の広島原爆の日の平和式典への出席を始め、広島を訪問してきました。その内容は墨坂祭で詳しく発表してもらえることになっています。そこで改めて平和についての考えを深めて欲しいと思いますが、その式典での広島の小中学校6年生による「子ども代表宣言 平和への誓い」の中の一節を紹介いたします。「戦争は昔のことではないのです。自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、それは強さとは言えません。本当の強さとは、違いを認め、相手を受け入れること、思いやりの心を持ち、相手を理解しようとすることです。本当の強さを持てば戦争は起こらないはずです。」と語っていました。私は社会科の教員です。子ども達と授業をしていた時は、この夏休みの8/6、8/9、そして8/15の3日間のニュースや翌日の新聞記事を見て、平和と戦争について思ったことをまとめてきましょう、という宿題をだしていました。また、この夏休み、先生の家の座敷にあるこの遺影を改めて見つめました。先生の祖父(じいちゃん)の弟です。坪井清と言います。1937年から始まった日中戦争に出征し、1939年25歳で戦死しました。小学生の頃、先生のばあちゃんがこの遺影の前で話してくれたことを思い出します。「扶司夫、赤紙(召集令状)が来ると戦争に行かなければならねんだぞ。戦争に行けば清さんのように死んでしまうんだぞ」と。子どもの頃、その遺影がある座敷に入るのが怖かったし、赤紙が自分の所に来た夢を見た記憶もあります。きっとあなた方の家にもこうした軍服姿の遺影が掲げているお家もあることでしょう。その方についてお爺ちゃんなどの家族に聞いてみることも平和を考える上で大切なことですね。

さて、1学期の校長講話でも少し触れましたが、今現在もロシアによるウクライナへの軍事侵攻は続いています。また、私たちの代表者が広島での平和記念式典に参列してきたということも含めて、今日のこの始業式でも平和についてもう少し考えて欲しいと思い、本当に簡単な絵本を紹介いたします。図書館にあった絵本です。

たにかわしゅんたろう ぶん Noritake え
『へいわとせんそう』
(ブロンズ新社)
読み聞かせ(本文は割愛します)



最後の「みかたの かお てきの かお」の表情は同じです。「みかたのあさ てきのあさ」「みかたのあかちゃん てきのあかちゃん」は全て同じです。この最後の同じかお、あさ、あかちゃんは何を意味するのでしょうか？
プーチン大統領、もうやめましょう。やめてください。同じ人間ではないですか？
毎日、そのニュースに接する度に、涙が出ます。プーチンさん、目をさましましょう。



さて墨坂中の夏休みです。三者懇談会やスペシャルアドバンスタイムで自信を深め、課題を解決し、自己更新をしている姿、生徒会役員の皆さんが墨坂祭の準備をしている姿、各部活動が練習に汗を流す姿等がみられました。

皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか。コロナウイルス感染症の予防をしっかり行いながら、家族とゆっくりと過ごした人が多いのではないのでしょうか。全校一堂に会して、皆さんの顔を見ることができないことは残念ですが、朝、昇降口では笑顔で明るい声で挨拶ができる生徒が何人もいて、元気がでました。きっと楽しい思い出がいっぱいでき、充実した夏休みだったんだと思います。校長先生

は、みなさんが大きなケガや事故もなく元気で登校できたことをうれしく思います。

いよいよ今日から2学期が始まります。暑い夏から秋を過ぎて雪の降る冬まで続きます。86日間という1年間で一番長い学期です。各学年代表の3名のみなさんがその決意や抱負を発表してくれました。

今、発表してくれた3人の友達のように、2学期の目標やめあてを決めた人も多いことと思います。その2学期の出発にあたり、これからの2学期、皆さんに期待することを2つ話します。

まず、1ヶ月後には生徒会最大行事の「墨坂祭」があります。墨坂祭をみんなの力を合わせて成功させましょう。成功させるとは、墨坂祭を通して「Dream ～今しかできない青春を～」を、そして、生徒会目標である「Advance～伝統を引き継ぎ 新たな挑戦へ」を達成することです。正副会長さんたちは今までの工夫を参考にしながら、テーマにあるような生徒一人ひとりが墨坂祭に参加できて良かったと思えるような墨坂祭を先導してくれることでしょ。ぜひ一人ひとりが展示や発表・合唱に向けて努力を積み重ね、自分の精一杯を存分に発揮する。そして、その過程の中で、それぞれが友を大切に、友達とたくさん話すことで、絆を深めよりよい人間関係を築きあげていくことが、「Dream」につながり、「Advance」になり、目標達成につながります。頑張りましょう。

二つ目は2学期の毎日の授業や生活に向けて1学期の始業式でお話したことと同じ事を伝えます。「自律に向け、心を立てて行動をおこすことができる生徒」をめざしてください。この自律は漢字で書くと「自ら律する」という方の自律です。自分の気まますを押さえ、自分の事は自分でやって行くことです。それができるようになるために、3つの力をさらに伸ばしてください。問題解決力をつけるために「考えて、やりとげる」ことを繰り返してください。「他者関係力」のために「伝え合い、わかり合」う経験を積んでください。「自己更新力」のためにフォーサイト手帳をさらに有効活用して「よりよい自分を創り、自らを認め好きになってください。

先生方はそのために「墨中授業の3ある」を引き続き授業の中で実施します。

- 1つ目 ◆問いや願いがもてる導入の工夫のある授業
- 2つ目 ◆友との対話がある授業
- 3つ目 ◆振り返りがある授業

です。この「授業の3ある」を実施していく中で、一人一台タブレットpcを道具として有効に活用します。

3年生にとっては、自分の将来に大きく関わる進路選択の時が、この2学期にやってきます。1,2年生にとっても、あっという間にその時が訪れます。中学の3年間は本当にあっという間です。誰かのためではないのです。ぜひ自分の自己実現のために、今以上に勉強してください。当たり前のことですが、1時間1時間の授業を大切にすることと家庭学習を今以上にしてください。

皆さんに期待することを2つお話ししました。全校492人、先生方48名、コロナ感染予防を怠ることなく、みんなで実現させましょう。

自己実現
のために

令和4年度 運動部 県大会・北信越大会の結果
吹奏楽部・合唱部コンクールの結果

大会結果については、HP 上では割愛いたします

令和4年度コミュニティスクール運営委員会が開催されました

1学期末、7月14日(木)に、今年度の第1回コミュニティスクール運営委員会(以下CS運営委員会)が開かれました。CS運営委員会とは、地域の方、保護者の方、学校職員や生徒と一緒に、学校運営・学校支援・学校評価について考える会です。

第1回目のCS運営委員会では、学校長から今年度の学校運営の方針について説明があり、生徒会三役からは、今年度の生徒会の活動についての発表がありました。学校支援ボランティアを広く募り、ボランティア人材バンクをつくることが確認されました。

第1回CS委員会で、委員の皆様から出されたご意見の一部を掲載します。

今年度の墨坂中学校CS運営委員のみなさん

<地域から>

ボランティア代表

井上地域公民館長

須坂創成高校長

同窓会長

主任民生児童委員

P T A会長

P T A副会長

<学校から>

学校長

教頭

教務主任

生徒会長

生徒会副会長

生徒会副会長

て
い
た
だ
き
ま
す

御
芳
名
は
、
H
P
上
で
は
割
愛
さ
せ

様
様
様
様
様
様

さん
さん
さん



・学習支援のボランティアに参加していて、年々質問をする生徒が減っているように思う。進路も、「行かれるところに行けばよい」とう感じがあるのか。自信をもって進路選択ができるとうよい。

・中学生と接する機会はもともとあまりなかったが、新型コロナウイルスの影響でますます減ってしまった。学校支援の活動を通してつながりをつくるのが、安心につながるとよい。

・キャリア教育が大切。体験する中で学ぶことの大切さと楽しさを味わえるとよい。学ぶきっかけをつくるのに、職場体験学習は大きな意味があった。将来何をしたいか、そのためにどうするの

かを考えられる機会があるとよい。

・将来何になりたいか、子どもたちはわからないでいる。身近な職業はわかっても、自分が本当にやりたいことはわからない。卒業した上の子は、職場体験学習が楽しかったようだ。コロナ禍でも、そういう学びができるとうよい。

・地域から学校支援ボランティアを募るのであれば、公民館報でそのことを記事にすることもできる。また、夏休み中に公民館の学習室の開放も行う。Wi-Fi環境とエアコンのあるところで、学習をすることができる。

～保護者の皆様へ～

日頃から、感染症の拡大防止にご協力くださり、ありがとうございます。夏休み中も健康観察、感染症の予防に努めていただき、ありがとうございます。依然として、感染症の収束はいまだに見通せない状況にはありますが、十分な感染症対策を講じながら、可能な限り計画通りに学校を運営し、行事等も開催できるように努めてまいります。ご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。